

News Release

2017年8月9日
株式会社日立製作所

プログラミングツール「Node-RED」の機能拡張に向けて、 システム連携を容易に実現する技術を開発

Node-RED コミュニティへの貢献と、IoT プラットフォーム「Lumada」への活用をめざす

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、ソースコードの記述(コーディング)を行うことなく、プログラミングが可能なツール「Node-RED^{*1}」の機能拡張に向けて、多様なシステム間での処理・データ連携を、容易に実現する技術を開発しました。日立は、今回開発した技術を「Node-RED」の新機能として Node-RED コミュニティに提供するほか、「Node-RED」初心者向けの書籍^{*2}の発売などを通じて、Node-RED コミュニティへの貢献をめざします。また、今後「Node-RED」を IoT プラットフォーム「Lumada」上で活用することで、お客さまへのアプリケーション開発・提供の迅速化をめざします。

IoT^{*3}の進展に伴い、さまざまなシステムと連携するアプリケーションを迅速に開発するため、直感的なシステム開発が可能なコーディングレスプログラミング技術や、システム間のデータ連携技術が求められています。「Node-RED」は、画面上に「ノード」と呼ばれる処理部品を配置し、「ノード」間を接続するだけでプログラムを容易に作成できるツールであり、コーディング不要でアプリケーションの開発やカスタマイズが可能であることから、企業での活用が進められています。しかし現在、システム間での処理やデータ連携を行うためには、個別の処理「ノード」を対象システムごとに開発する必要があることが課題となっています。

そこで日立は、多様なシステム間の処理やデータ連携を簡素化する技術を開発しました。具体的には、「Node-RED」と他システムとの連携パターンを一般化できることに着目し、システム間の接続インターフェース(API^{*4})を統合管理する技術(Flow Connection Gateway)を開発しました。Flow Connection Gateway は、システム接続機能を標準で提供するほか、接続先システムの API を参照することで必要な設定を簡略化できるため、「ノード」の開発を効率化し、迅速なアプリケーション開発を可能にします。

日立は、今後も Node-RED コミュニティへの貢献を続けるとともに、「Node-RED」を「Lumada」上で活用し、社会やお客さまの課題を解決するアプリケーションを迅速に開発・提供することで、社会イノベーション事業を推進していきます。

■ 日立による Node-RED コミュニティへの貢献

日立は、「Node-RED」の将来的な活用を見据え、Node-RED 日本ユーザ会*5に 2015 年 10 月の発足当初から参加し、多言語対応などの技術開発を通じて Node-RED コミュニティに貢献してきました。2017 年 6 月にリリースされた最新版(Version 0.17)の「Node-RED」における開発への貢献度は、トップの International Business Machines Corp.(IBM)に次ぐ順位と評価されています。

■ JS Foundation*6 エグゼクティブ・ディレクタ Kris Borchers 氏のコメント

日立が IoT プラットフォーム「Lumada」上で「Node-RED」を活用することについて、JS Foundation を代表してとてもうれしく思います。今後も、Node-RED コミュニティに対する日立の貢献や、「Node-RED」に向けた新機能の提供に期待しており、Node-RED プロジェクトの長期的な成功に向けて、日立と継続的に協力していきます。

*1 Node-RED: IBM が開発し、2016 年 10 月に JS Foundation(オープンソースに関するさまざまな活動を支援するための非営利団体 Linux Foundation のプロジェクト)に寄贈されたコーディングレスプログラミングツール。Node-RED 公開サイト: <https://nodered.org>

*2 「つないでつないでプログラミング Node-RED でつくる初めてのアプリ」: プログラミングの仕組みと原理や、「Node-RED」を用いたアプリケーション作成についてわかりやすく解説する入門書。

日立 Node-RED エバンジェリスト著、リックテレコム社出版、2017 年 8 月 16 日発売、2,000 円(税抜)。

*3 IoT: Internet of Things

*4 API: Application Programming Interface

*5 Node-RED 日本ユーザ会: <https://nodered.jp>

*6 JS Foundation: <https://js.foundation/>

■ 照会先

株式会社日立製作所 研究開発グループ 研究管理部 [担当:小平、安井、石川]
〒185-8601 東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目 280 番地
電話:042-323-1111 (代表)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
